

キンギョソウ ソルスティス・シリーズ

短日開花するニーハイ(膝丈)サイズのキンギョソウ

- ソルスティス・シリーズは、短日条件でも開花する、冬でも花をつけるキンギョソウです。従来の季咲きの品種と比べると30日から60日も早く開花します
- ソルスティス・シリーズは、イールドポテンシャル90%以上の高品質種子のみを供給します
- 草丈は40-50cmと花壇の背景やコンテナガーデンの芯にちょうどよい膝丈サイズです
- ソルスティス・シリーズは、短日条件では日あたりのよい場所で、夜温13℃以下が生育に最も適した環境です。この条件を作ることができればステムのしっかりしたキンギョソウに仕上がります
- 9月から1月の播種だと、9cmポットで9-11週(2-2.5ヶ月)で開花します。この秋播き冬出荷の生産パターンが、温度条件を考えた上で最もステムの強固なしっかりした株に仕上げやすいでしょう
- ソルスティス・シリーズでは、バーガンディ、ラベンダー、オレンジトリカラー、ピンク、パープル、レッド、ローズ、ホワイト、イエローの9色とミックス種がご利用いただけます。また、ソルスティスとは冬至を意味し、日が短いその頃にしっかりと咲いているというイメージから名付けられました

発芽およびプラグ生産ステージ

本品種の学名: *Antirrhinum majus*

ステージ1 (幼根発生の期間)

水はけがよく、新しく衛生的な培地を用い、土壌 pH 5.5-5.8, EC 値^{*}0.75mmhos/cm(2:1)を維持しましょう

発芽適温:	18-20℃
発芽期間:	4-8日
発芽土温:	18-20℃
適正湿度:	ふつう
照度管理:	発芽は照度の影響を受けません
覆土:	パーミキュライト等で軽く覆土します

ステージ2 (茎と子葉の発生まで)

期間:	7-14日
適正地温:	18-21℃
適正湿度:	子葉が展開した時点で湿度を下げ、苗は乾燥ぎみに管理します。苗のストレスを緩和するため、かん水できるだけ朝の早い時間帯に行いましょう

照度管理:	5,000-16,000ルクス
肥料:	子葉が完全に展開したら14-0-14の肥料を50-75ppm(N)で、かん水と交互に与えましょう。最初のうちは交互ではなく肥料の回数を少ないところから始めます。水の塩類濃度を60-100ppmで維持し、アンモニアの含有量を10ppm以下に抑えます

土壌 pH:	5.5-5.8
土壌 EC:	0.75 mmhos/cm 未満*

ステージ3 (本葉の展開と生長段階まで)

期間:	14日
適正地温:	17-18℃
適正湿度:	根の発育を促し、地上部の生長のムラを防ぐため、かん水は乾かしぎみに行います。ただし、苗を枯渇させないようにくれぐれも注意しましょう。

照度管理:	11,000-27,000ルクス
肥料:	20-10-20と14-0-14の肥料を100-150ppm(N)で交互に、かん水の2,3回おきに与えましょう。この段階で、硫酸マグネシウムか硝酸マグネシウムを水10L中に10グラムの割合で溶解し補完的に与えましょう。硫酸マグネシウムと硝酸マグネシウムの混合使用は、溶質が沈殿するため必ずどちらか一方のみを用いましょう

土壌 pH:	5.5から5.8
土壌 EC:	1.0 mmhos/cm 未満*
矮化处理:	薬剤処理に頼らず、可能な限りDIF(昼・夜間の温度差による生長制御方法)を利用しましょう。矮化剤では、播種後3,4週を目安にAレスト10ppmの葉面散布が節間伸長の抑制に効果がありました

ステージ4 (苗の移植あるいは出荷可能な時期まで)

期間:	7日
適正地温:	16-19℃
適正湿度:	苗床は乾燥ぎみに管理しますが、苗の枯渇には十分注意しましょう

照度管理:	11,000-27,000ルクス
肥料:	必要に応じて14-0-14の肥料を100-150ppm(N)で与えます。ステージ4ではアンモニア態の肥料は与えないようにします

土壌 pH:	5.5-5.8
土壌 EC:	0.75 mmhos/cm 未満*

ポット上げから出荷まで

水はけがよく、新しく衛生的な土を含まない培地を用います。初期栄養分は中庸で、土壌 pH 5.5-6.2 を維持しましょう

開花までの期間(連結パックあるいは 9cm ポット)*:

9月または1月中・下旬播種の場合: 9-11 週

10月から1月(初旬まで)播種の場合: 14-15 週

*9cm ポットのほうが、連結パックよりも開花がいくぶん遅れることがあります

適正温度:	13℃以下
適正湿度:	乾かしぎみにする
照度管理:	適正温度を維持できるのであれば、照度は高い方が植物には有効
肥料:	かん水と1回おきに、15-0-15と20-10-20の肥料を150ppm(N)の濃度で与えましょう
土壌 pH:	5.5-6.2
土壌 EC:	1.0 mmhos/cm(1:2) *

草丈の調整方法:

- 根が張ってポットの内側にまで達したら、培地をドライに維持し過湿にならないように管理します
- リン系とアンモニア態窒素を含む肥料の使用を控えます。とくにリンはステムを軟化させてしまうので、キンギョソウの生産では控えた方がよいでしょう
- キンギョソウは、DIF(昼間と夜間の温度差を利用した生長制御の方法)によく反応する植物で、朝方の換気と隆温で伸長抑制の効果があります
- 上であげたような生育環境の条件が維持できれば、矮化剤を用いなくても徒長の少ない商品性の高い株を作ることは可能です。薬剤を用いて処理する場合、A レスト、B-9、ボンザイで矮化効果があります。ただし、矮化剤の使用は開花の遅れや個体差を惹き起こす可能性もあります

予想される一般的な生育障害

害虫: アブラムシ、スリップス

病気: ボトリティス、さび病菌、ウドンコ病等

ブリーダーからのアドバイス

ソルステイスを生産される生産者へ

- カットパックから 9cm ほどの小ポットが最も作りやすい品種ですが、大鉢へ複数定植してワンランク上の価格帯を狙えるバリューパックアイテムでもあります
- 春先の生産では、温度の急激な上昇に注意して栽培しましょう。生理的に、温度が上がるとステムがやわらかくなります

ソルステイス販売される販売店へ

- ソルステイス・シリーズの品質を保持するため、遮光のあるところへの棚割をしましょう
- 乾燥を好むので、店頭での過剰なかん水は避けましょう。ただし苗を絶対に枯らせないように注意します

ご購入されたガーデナーへ

- ソルステイス・シリーズは、日あたりのよい場所に定植、配置しましょう
- 株をご家庭で手軽に切花としてもお楽しみいただけます。切った後に軽く市販の肥料を与えると、新しいわき芽がまた吹いてきます

EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合もあります

2005年9月 改定

PanAmerican Seed

PanAmerican Seed Co.
622 Town Road, West Chicago, Illinois, USA 60185-2698
630 231-1400 Fax: 630 231-3609 www.panamseed.com

©2000 Ball Horticultural Company Printed in USA PAS03040
Originally issued in USA, and under permission translated into Japanese
and revised in 2005. Printed in Japan